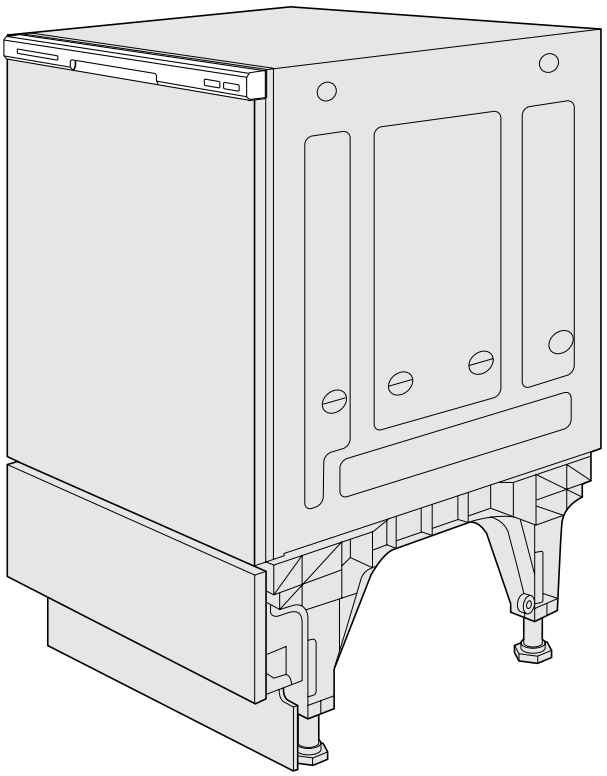
Panasonic

# 食器洗い乾燥機 45cm幅シリーズ

品番 NP-P45MD2W
NP-P45MD2S

# 取付設置説明書



## もくじ


安全上のご注意 必ずお守りください ……2
各部のなまえと寸法……4
設置場所について……6
電気工事について……7
給・排水工事……8
設置手順……10
試運転……21
試運転後の作業……23
設置後の点検（チェックリスト）…裏表紙
お客様への取り扱い説明……裏表紙
寒冷地において冬季長期間ご使用にならない場合の水抜き方法（機内給水経路）…裏表紙


### 設置をされる方へのお願い

- この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。
  なお、JETは、厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関のひとつであり、他に(社)日本水道協会等があります。
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 設置終了後 設置後の点検 のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は設置終了後、お客様へお渡しください。
- 設置に関して不明な点がありましたらビジネスユニットへご相談ください。

この取付設置説明書どおりに設置・取り付けをしないと、事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

**■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

**■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| 🚫 | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。 |

（上記は絵表示の一例です。）

## ⚠警告

### 絶対に分解したり修理・改造しない

分解禁止

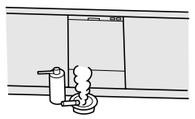
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。

### 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けない

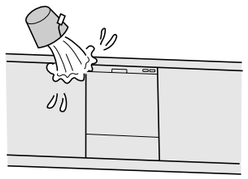
火気禁止

火災や変形の恐れがあります。



### 水につけたり、水をかけたりしない

水ぬれ禁止



ショート・感電の恐れがあります。

### 電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

❗

火災の原因になります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

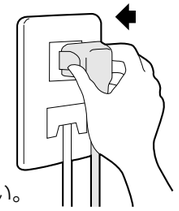
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

❗

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

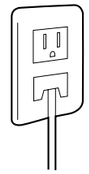




## ⚠警告

### アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



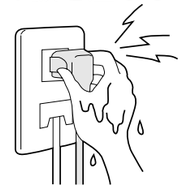
アース線接続

●アース工事は販売店または電気工事店にご相談ください。（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません。）

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



### 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない

禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

### 電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない

禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

### コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない

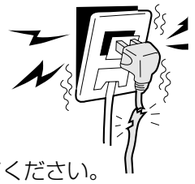
禁止

感電・漏電や火災の原因となります。

### コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない

禁止

感電・ショート・発火の原因になります。



●販売店に点検・修理を依頼してください。

### ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない

禁止

感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

### 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む

❗

上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

### 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

❗

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

## ⚠注意

### 給水弁を床に落とさない

禁止

落下させると床面がキズ付く恐れがあります。

### 包装を外す時刃物を使わない

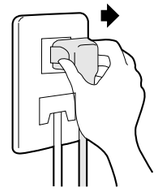
禁止

刃物により製品が損傷し水漏れ等の恐れがあります。

### 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く

❗

感電やショートして発火することがあります。



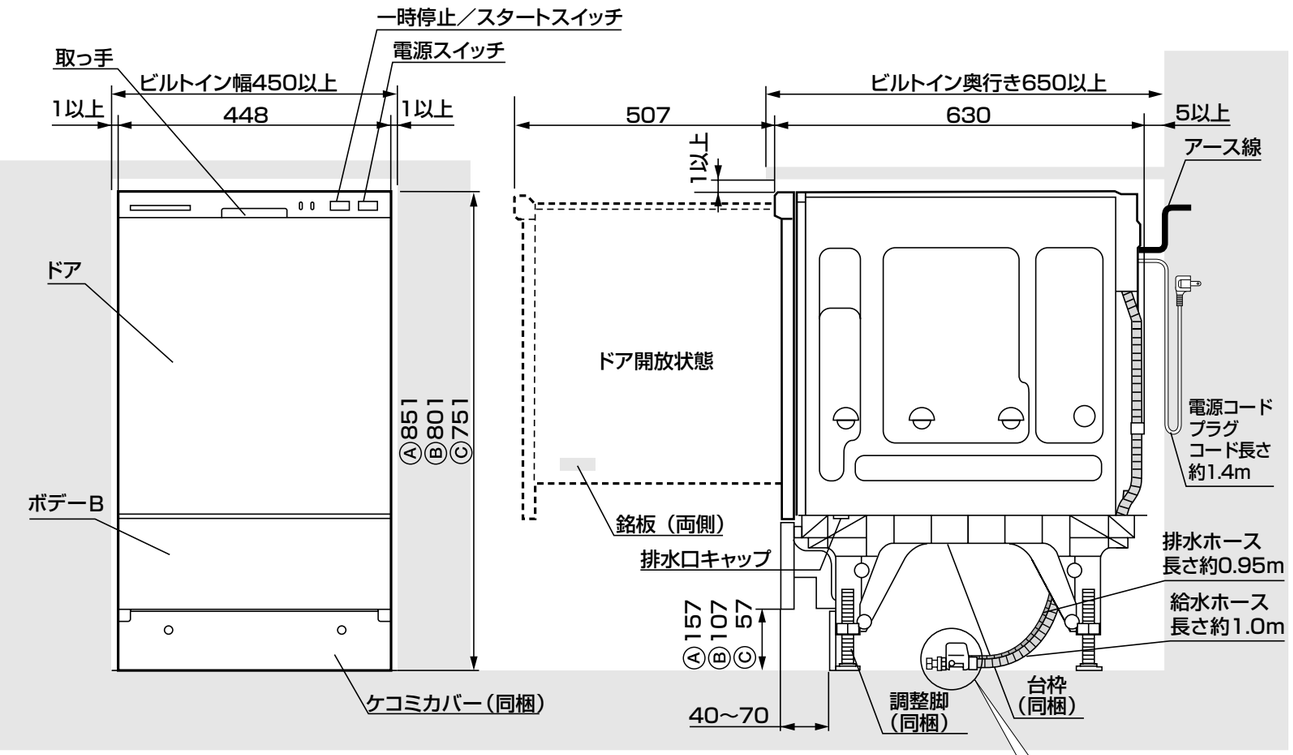
# 各部のなまえと寸法

● 本体およびかごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。
● ドア下部裏側のL型、及び製品前面・背面の包装部品も忘れずに取り外してください。

※本説明書は下図に示す台枠（同梱部品組立）が事前に設置されているのを前提にしております。
※本機を設置する場合は下図の設置寸法をお守りください。（離隔距離については0cmで消防法の基準に適合しております。）
※下図はドア構成が面材タイプのNP-P45MD2Wをベースとしていますが、寸法関係はNP-P45MD2S（ドア構成がパネルタイプ）についても同様です。

Ⓐ＝キッチン高さ900mmの場合
Ⓑ＝キッチン高さ850mmの場合
Ⓒ＝キッチン高さ800mmの場合

本機は奥行き600mmのキッチンには設置できません。




消防法基準適合 組込形

（単位：mm）

（ドア用面材またはパネルは別売品です）

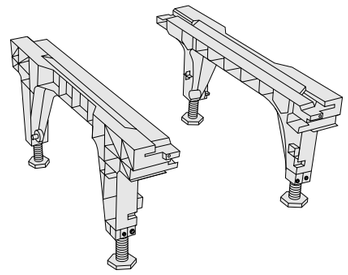
作業が完了したらチェック
チェック

# 付属品の確認

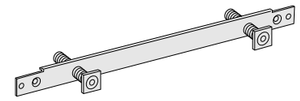
（ドアおよびボデーBに使用するパネルまたは面材は別売品です）

## 設置に必要な付属品

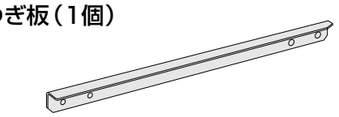
①台枠（調整脚付き）（左右各1個）



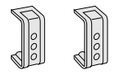
②前つぎ板（調整ネジ付き）（1個）



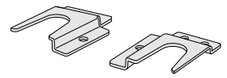
③後つぎ板（1個）



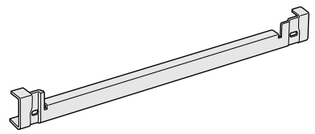
④転倒防止金具（2個）



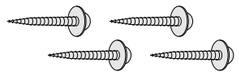
⑤調整脚固定金具（各1個）



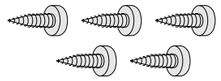
⑥前ズレ防止金具（1個）



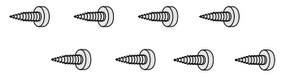
⑦木ネジ（4×30）
● ①横連結用（4本）



⑧ネジ㊦（5×15）
● ⑤取り付け用（5本）

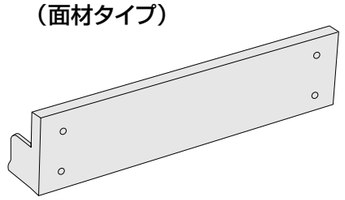


⑨ネジ㊥（4×14）
● ②・③・④・⑥ 取り付け用（8本）

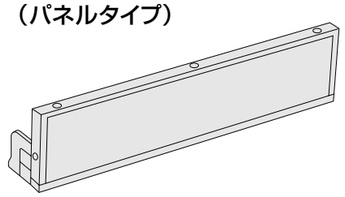


⑩ボデーB（1個）

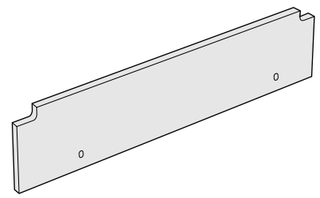
NP-P45MD2Wの場合の形状（面材タイプ）



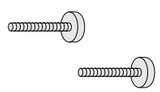
NP-P45MD2Sの場合の形状（パネルタイプ）



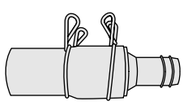
⑪ケコミカバー（1枚）



⑫ネジ㊓色（4×20）
● ⑪取り付け用（2本）

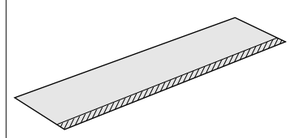


⑬ホースジョイント（1個）
⑭ホースバンド㊦（2本）



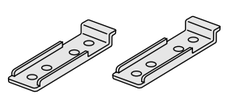
⑮ホースバンド㊨（1個）

⑯フィラー（1個）

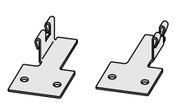


## 面材タイプ用同梱品

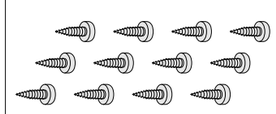
● 面材取り付け金具A（2個）



● 面材取り付け金具B（左右各1個）



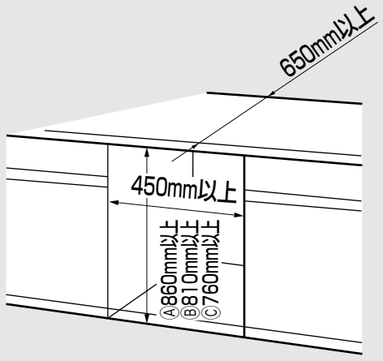
● ネジ㊥（4×14：12本）



# 設置場所について

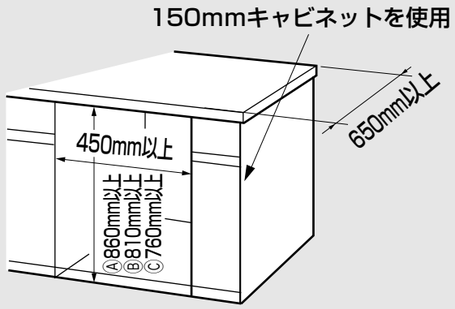
Ⓐキッチン高さ900mmの場合
Ⓑキッチン高さ850mmの場合
Ⓒキッチン高さ800mmの場合

## 中間にビルトインする場合




## 片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支える処置をします。

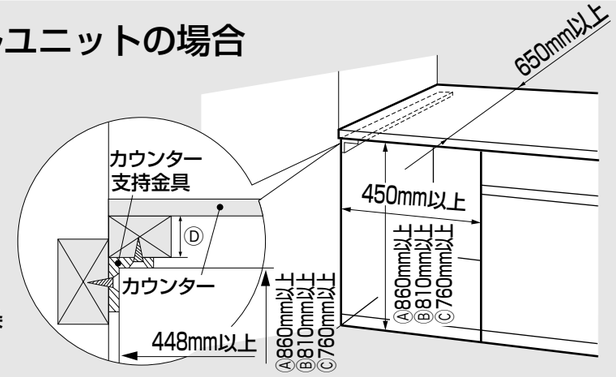



## 片側が壁面または、トールユニットの場合

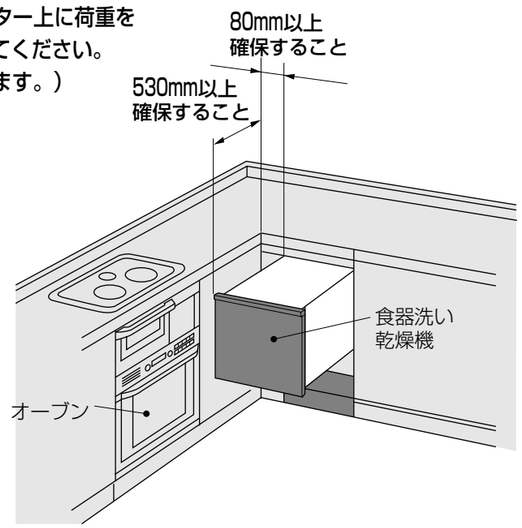
●カウンター支持金具は別売補強部材（品番N-L3）または市販のＬ金具を使用します。

※締結ネジの長さは、右図のⒹ寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。

※法令：電気設備の技術の解釈第167条（平成13年）




●ビルトイン型加熱機器等と並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。（別売補強部材（品番N-L3）又は市販のL金具を使用します。）




## お願い

●Ｌ型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブン等の取っ手部に当ったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

※本機及びキッチンの金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。
法令により義務づけられています。

※法令：電気設備の技術基準第167条（平成13年）



# 電気工事について

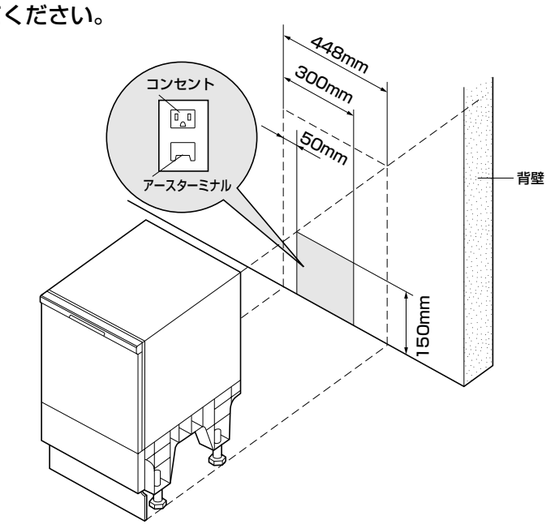
チェック

■工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。
●電気工事、アース工事は電気工事士の有資格者が行なってください。
●電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

### ⚠警告

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



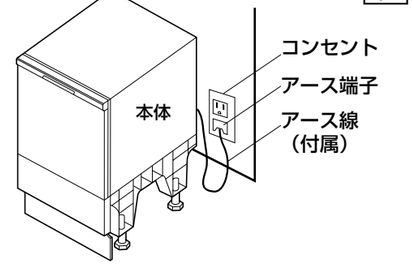

●本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
●コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
●アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）

# アース（接地）のしかた

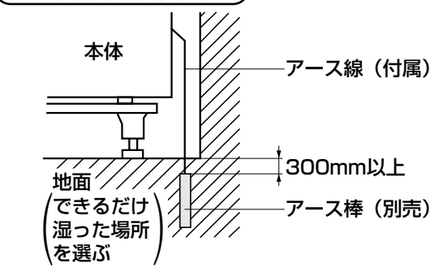
チェック

■感電事故防止のため、必ずアースの取り付けをしてください。
■水気や湿気の多い所および屋外に設置する場合は、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
なお、水気のある場所では、このほかに必ず漏電遮断器を取り付けてください。（法令で規定されています。）
■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください（法令で禁止されています。）
■アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。
■設置場所の変更やご転居の祭には、必ず再度アース取り付けを行ってください。
※ご不明な点は販売店または電気工事店にご相談ください。

アース端子付きコンセントを使用の場合




アース棒を使用の場合




## 漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※なお、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

**漏電しゃ断器** ── 住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

（例）品番（パナソニック電工）BJS 203
定格電流20A、感度電流30mA
（AC100-200V両用）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーＨＢ型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

# 給・排水工事

チェック

■本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa {0.3～10kgf/cm²} の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa {6kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

■本機は（財）電気安全環境研究所（JET）より「給水装置の構造及び材質の基準（厚生省令）」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。
各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応を実施してください。

**⚠注意**

**高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける**

水もれの原因になります。

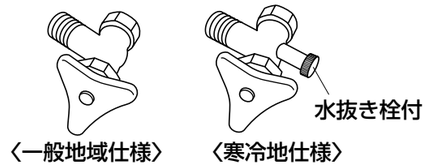
- シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。
- 本機の配管に減圧弁を取り付ける。

（水栓の急閉時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水もれの原因となるためです。）

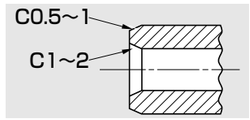
■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。

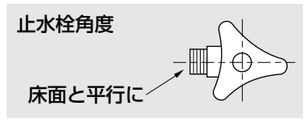
- 給湯（給水）管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用して、断熱材を巻いてください。（給湯の場合は必ず耐熱配管にします。）
- 排水横枝管に至るまでの接続部分（チーズ）も耐熱塩化ビニル管（HT相当品）を使用してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。
- アングル型止水栓（ハンドル式、固定ゴマタイプ）を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行に）

※冬季長期間留守し、凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。




- 排水管HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外径側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。




**お願い**

**元付け型の浄水器に接続しない**

元付け型の浄水器に接続すると、水道法で規定されている残留塩素濃度が0.1ppm以下となり、屋内に給水される水が細菌等に汚染される（バクテリアが繁殖）恐れがあります。

# 給湯機について

- 給水接続、給湯接続のいずれかをお客様に確認した上で施工願います。
（給湯接続された場合、運転時間にメリットがあります。）
- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で、下表の機器に接続してください。
- 出湯温度が70℃～45℃の範囲で温度調節可能な機器に接続してください。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。本機へ給水されない恐れがあります。

**⚠注意**

**元止め式湯沸器には接続しない**

禁止

湯沸器からの水もれの恐れがあります。

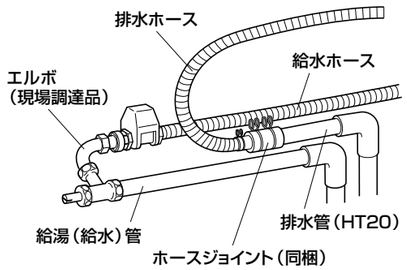


# 配管例

●※印寸法は必ずお守りください。排水ホースが折れ、排水不良の原因となります。
●下記配管例以外の施工をする場合はビジネスユニットにご相談ください。(単位：mm)

## 買い替えの場合

●フロントタイプの食洗機より買い替えをされる場合は右図に示すように既設の給湯（給水）管および排水管（HT20）を使用して、本機の給水ホースおよび排水ホースに無理な力がかからないようにして接続することも可能です。
〈床立上げ・壁出し・床ころがし共通〉
※給水ホースを接続する時はエルボ（現場調達品）等を使用して接続してください。

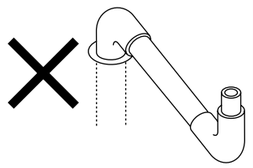



## 床立上げの場合

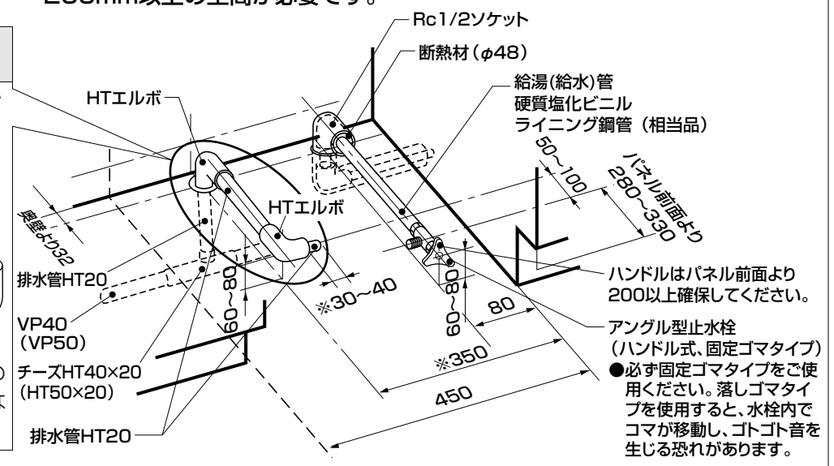
※止水栓接続部より左側には給水ホースの接続として200mm以上の空間が必要です。

**お願い**

**排水管先端のエルボを上向きにしない**



エルボを上向きにするとキャビネットに当たるため排水ホース折れの原因になります。

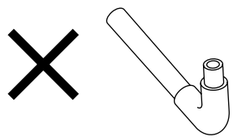



## 壁出しの場合

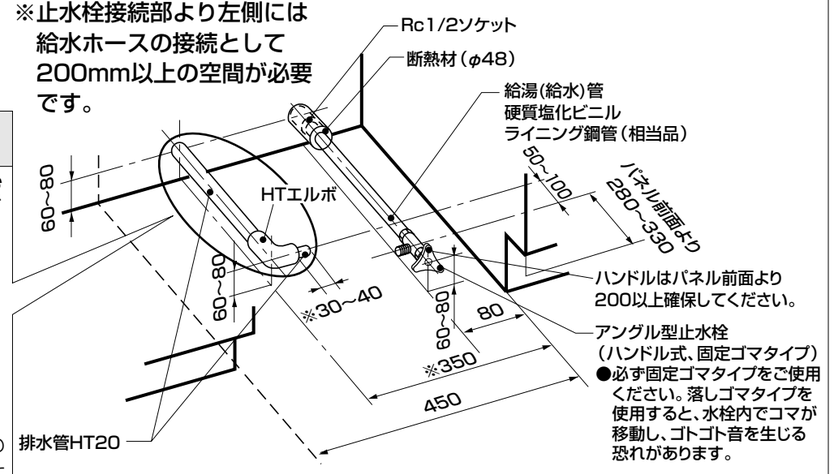
※止水栓接続部より左側には給水ホースの接続として200mm以上の空間が必要です。

**お願い**

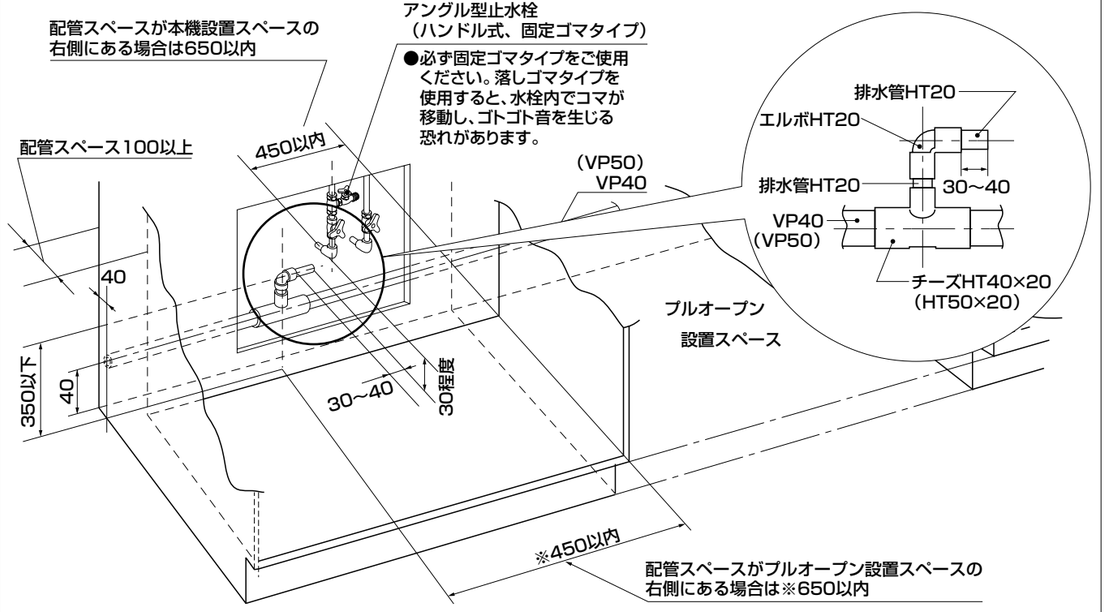
**排水管先端のエルボを上向きにしない**



エルボを上向きにするとキャビネットに当たるため排水ホース折れの原因になります。



## 床ころがしの場合　近接するシンクキャビネット背面に点検口を有する配管スペースがある場合

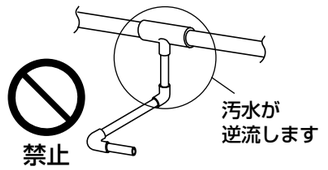



●食洗機の給水ホースが止水栓に当たる場合はフレキシブルホース（現地調達品）等を使用して当たらないようにしてください。

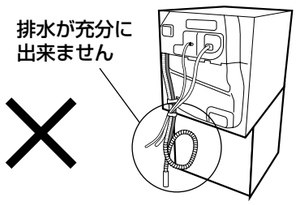
## 悪い排水配管例

右図のような配管をすると、汚水が機器に逆流し、水もれの恐れがありますので、絶対しないでください。

●チーズ下向け設置




●排水ホースのループ巻き接続

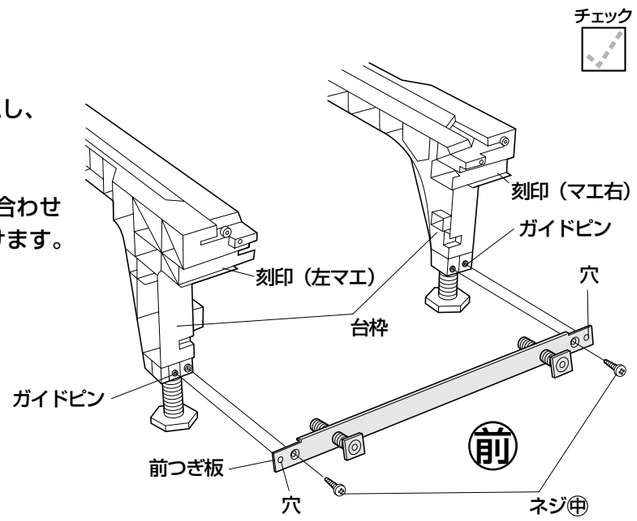



# 設置手順

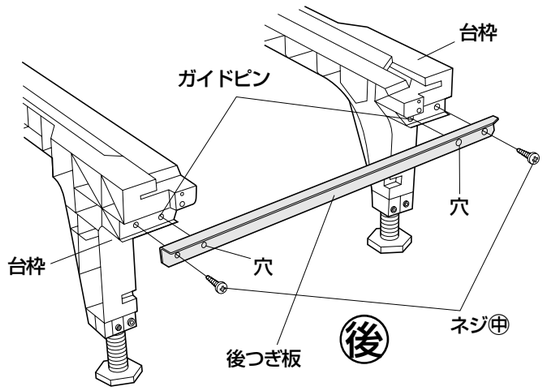
## 1 台枠の組み立て

●台枠の刻印（左マエ、マエ右）を確認し、前後、左右を決めてください。

1 台枠のガイドピンに前つぎ板の穴を合わせて、ネジ㊥（2本）で台枠に取りつけます。

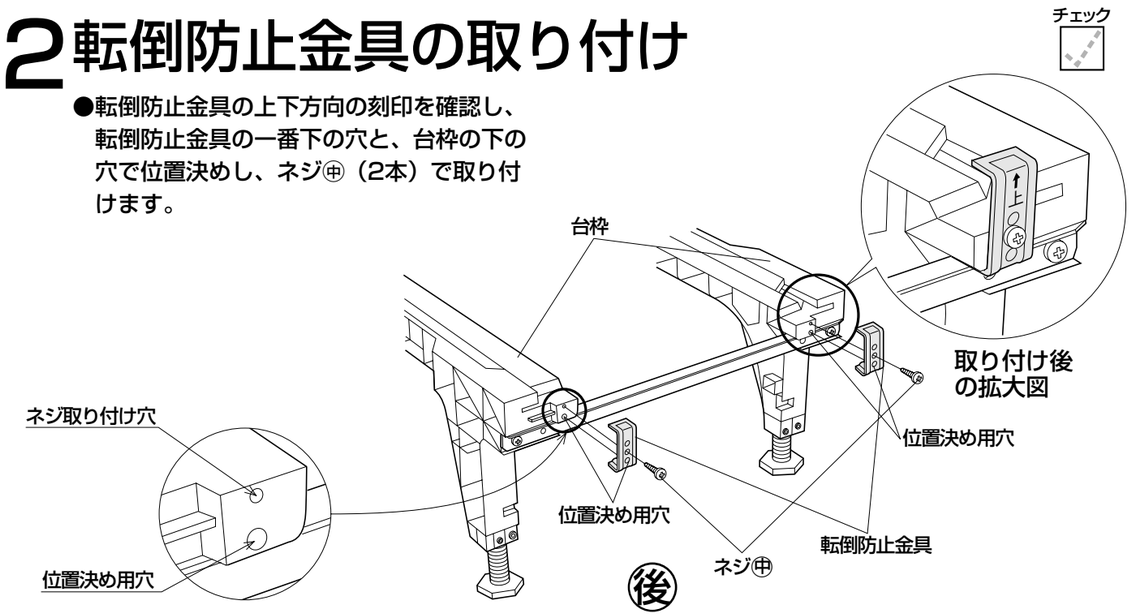



2 台枠のガイドピンに後つぎ板の穴を合わせて、ネジ㊥（2本）で取り付けます。




## 2 転倒防止金具の取り付け

●転倒防止金具の上下方向の刻印を確認し、転倒防止金具の一番下の穴と、台枠の下の穴で位置決めし、ネジ㊥（2本）で取り付けます。



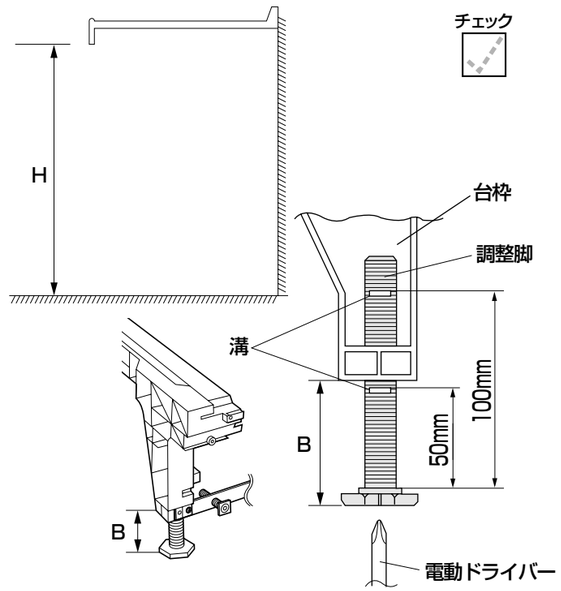

## 3 台枠の高さ調整

●本機を設置するキッチンの高さに応じて、台枠の調整脚の出代の調整を行ってください。（電動ドライバーでも回わせます。）
●調整脚には、出代50mmと出代100mmの位置に溝があります。

1 カウンター下面より設置面までの高さHを測定します。

2 調整脚の出代「B」を次の式で求めます。
B＝H-742

3 台枠の高さ調整のための調整脚を回転させて「B」寸法になるように出代を調整します。

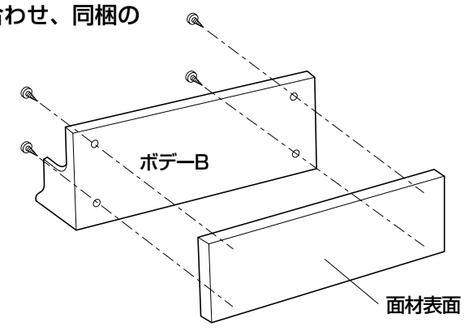


# 4 面材タイプの場合のボデーBへの取り付け

チェック

面材タイプ：NP-P45MD2W ●面材は別売品です：寸法については22ページ参照

●ボデーBの4か所の穴に面材下穴を合わせ、同梱のネジ㊥4本で固定します。

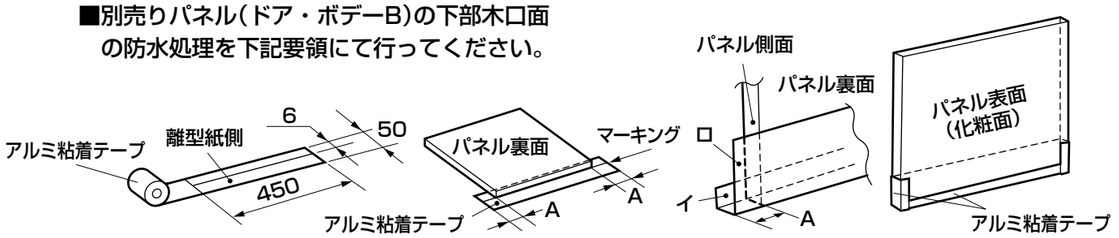



# 5 パネル(化粧板)タイプの場合の防水処理

チェック

パネルタイプ：NP-P45MD2S ●パネルは別売品です：寸法については22ページ参照

■別売りパネル(ドア・ボデーB)の下部木口面の防水処理を下記要領にて行ってください。




1)幅50mmの離型紙付アルミ粘着テープ（市販）を準備し、450mmの長さでカットした後、硬めのシャープペン等で幅6mm*の位置にマーキングする

2)アルミ粘着テープの離型紙をはがし、マーキング跡にパネル表面側（化粧面）下端を左右均等出代Aになるようにセットし貼り付ける この時、A寸法は9mm以下*であることを確認すること

3)パネルを垂直に立てアルミ粘着テープのコーナー処理を下記の順で実施する
①出代Aのイ(短辺)をロ(長辺)に接着する
②次にロ(長辺)をパネル側面からパネル表面(化粧面)へ巻き込むように折り曲げて貼り付ける
③シワを押さえてきれいに仕上げる

＊外観に影響するため必ず守る

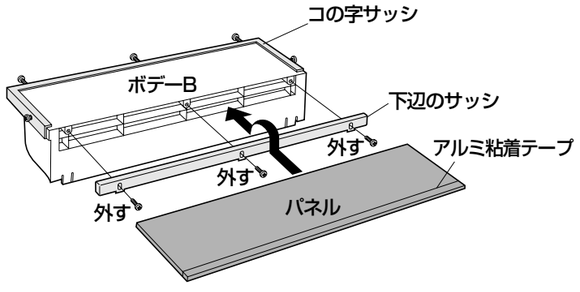
●テープが破れた場合はやり直すこと

## パネルのボデーBへの取り付け

1 コの字のサッシの5か所のネジはゆるめて下辺のサッシは3か所のネジを外します。

2 コの字のサッシを持ち上げて、すき間から別売パネルを差し込みます。
※このときパネルは防水処理した側を下にします。

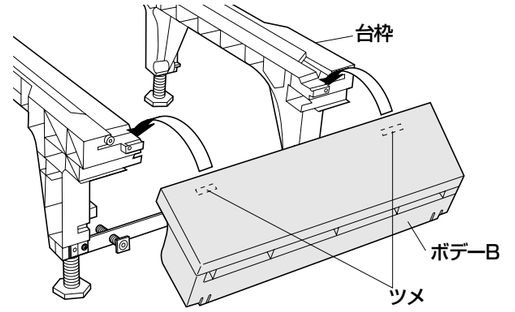
3 コの字のサッシのネジを締め付け、下辺のサッシをネジで取り付けます。
（コの字のサッシと下辺のサッシに段差が出ないように、ネジを調整しながら締め付けてください。）



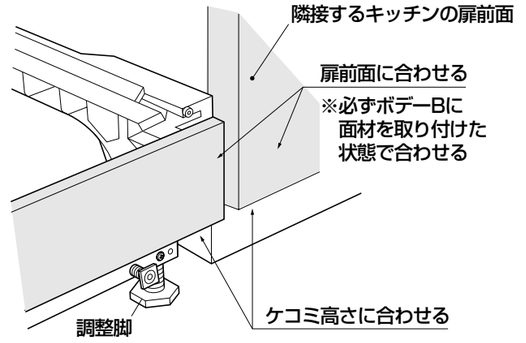

# 6 台枠の設置

チェック

1 パネルまたは面材を取り付けたボデーBの上面左右のツメを台枠の突起にはめ込んで、下方をカチッと音がするまで押しつけて、ボデーBを台枠に取り付けます。

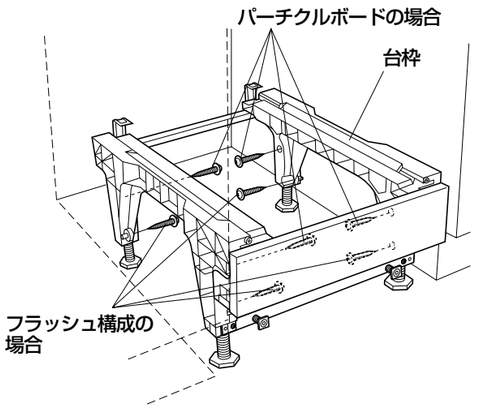



2 台枠を設置スペースにビルトインし、ボデーBの前面（面材前面）が隣接するキッチンの扉前面に合うように前後位置を決め、またボデーBの下面がキッチンのケコミ高さに合うように、調整脚で高さの調整をします。
（水準器等を用いて、前後方向、左右方向に傾きがないように調整する。）




3 同梱の木ネジ（4本）で台枠を隣接するキャビネットの側板に締め付ける。
（キャビネットの側板がパーチクルボードの場合は上の穴で、フラッシュ(中空)構成の場合は下の穴で締めてください。）

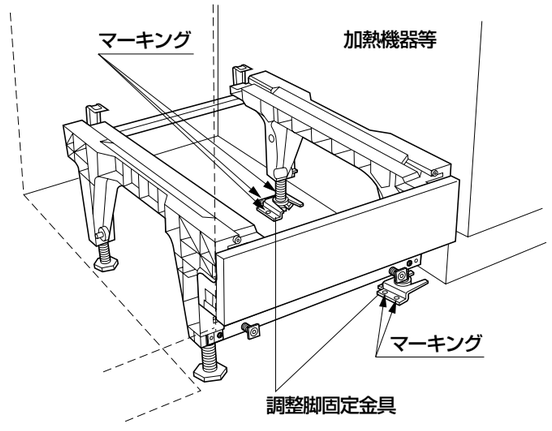
※片側に加熱機器等があり、4本すべての木ネジが締め付けられない時は、台枠の転倒、移動を防ぐため、同梱の調整脚固定金具の取り付けが必要です。
（次ページ参照）




4 ボデーBの下辺部を手前に引き、ボデーBを台枠から取り外す。
（このボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。）

## 片側が加熱機器等の場合

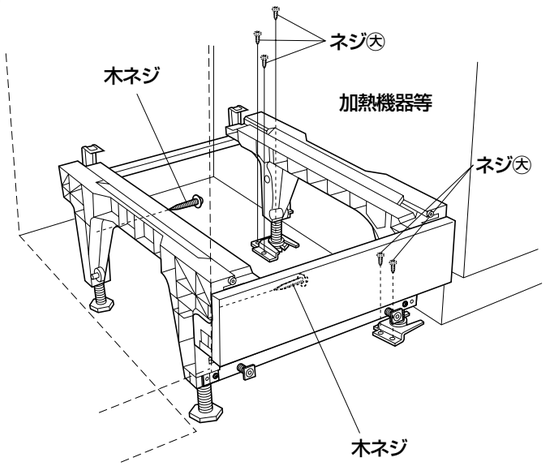
1 加熱機器側の台枠の調整脚に同梱の調整脚固定金具を右図のようにセットし、後部3か所、前部2か所のネジ穴にマーキングする。



2 台枠、調整脚固定金具を取り外し、マーキング部にφ3の穴をあけた後、後部の調整脚固定金具のみを同梱のネジ㊅で締め付ける。（3か所）

3 台枠を再度設置し、台枠の前後上下の位置を再度合わせ、キャビネット側の台枠を同梱の木ネジで側板に締め付ける。（2か所）

4 加熱機器側の台枠の前部の調整脚に同梱の調整脚固定金具を再度セットし、下穴をあけた内側を同梱のネジ㊅で締め付ける。(2か所)



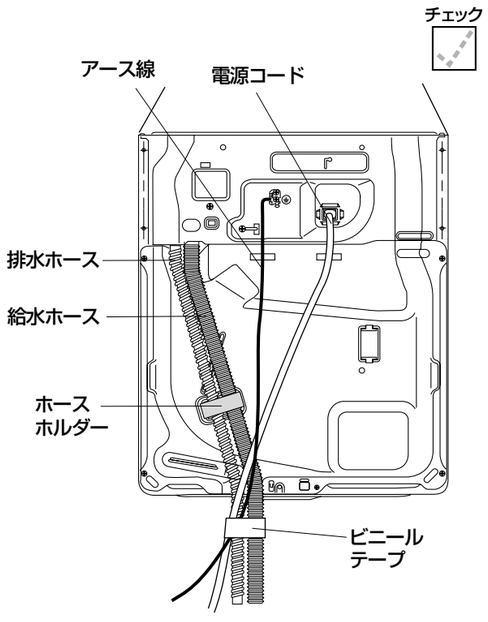

# 7 コード類の束ね

チェック

1 本体後面のホース留め具などを外し、給・排水ホースを下方にしてください。

2 ホースホルダーの下の位置で各ホース、コード類をビニールテープで束ねてください。

※本体をビルトインする時に作業がしやすくなり、また、電源コードやアース線が転倒防止金具にかみ込まないようにするためです。必ず行ってください。

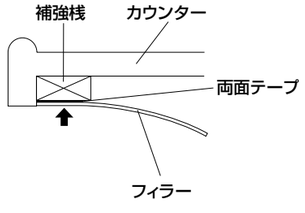



# 8 キッチンカウンター内面へのフィラー（同梱）の取り付け

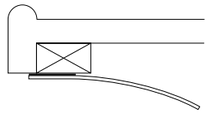
チェック

●キッチンカウンター内面が結露する恐れがありますのでフィラーを必ず取り付けてください。

●キッチンカウンター内面にある補強桟に同梱フィラーの両面テープのリケイ紙をはがし、前基準ですき間がないように貼り付けてください。




＜カウンター前部下端と補強桟位置が同じ高さの場合＞
フィラー前端がカウンターにかかるように貼り付けてください。





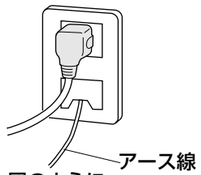
# 9 電源コード・アース線の接続

チェック

●電源コード・アース線は台枠の内側から通してコンセント及びアースターミナルに接続してください。

1 電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。

●200V電源に差し込まれますと、瞬時に故障します。



**⚠警告**

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む。

上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。

**⚠警告**

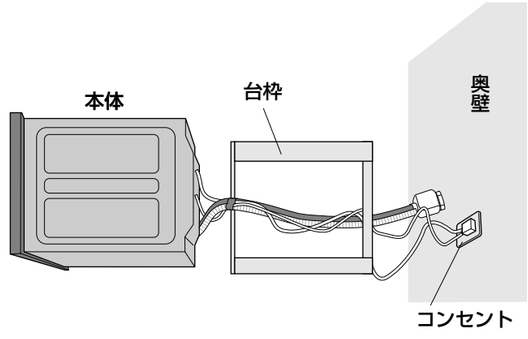
アースを確実に取り付ける。

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

**アース線接続**

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。

2 アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
（法令等で禁止されています。）




**⚠警告**

| 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない。 | コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない。 |
|---|---|
| 禁止 感電・漏電や火災の原因となります。 | 禁止 感電・漏電や火災の原因となります。 |

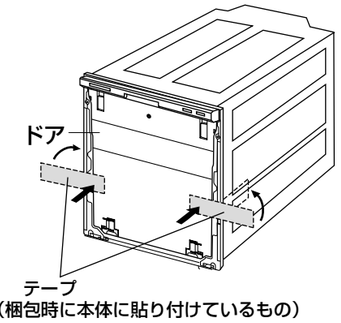
# 10 本体のビルトインとホースジョイントの接続 チェック

## ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない。<br>感電・漏電・火災や水もれの原因となります。<br>禁止 | 電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない。<br>感電・漏電や火災の原因となります。<br>禁止 |

設置時にドアが前面に飛び出すのを防ぐ為、梱包時に貼り付けていたテープを右図の要領で本体側面に貼りつけます。

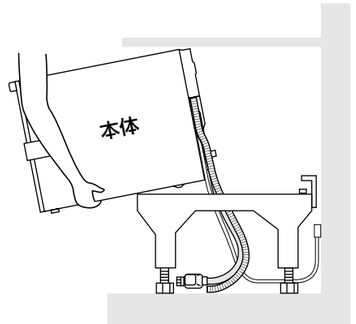
※このテープは本体を設置し、ビルトインする直前にはがします。




## 床立上げ、壁出しの配管例（9ページ）の場合

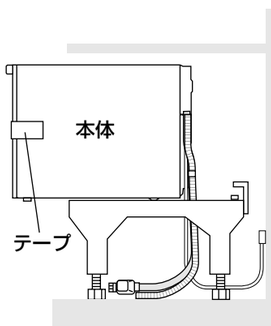
1 本体の後脚を台枠に乗せ、本体を台枠の上をすべらしながら押し込んでください。

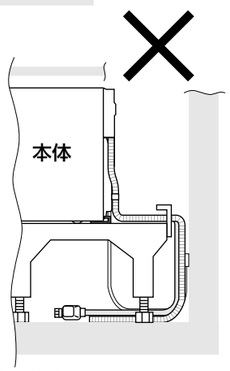
※本体の下面を手で支え、ドアは持たないようにしてください。




2 本体の前脚が台枠に乗ったら、隣接する機器等に注意し、ドア中央下部をゆっくり押してビルトインしてください。

※本体が水平になりましたら、ドア飛び出し防止用に貼り付けたテープをはがしてください。



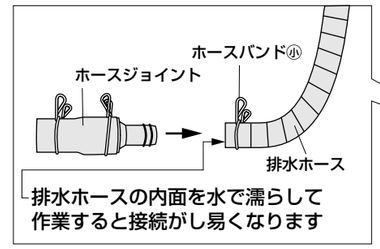



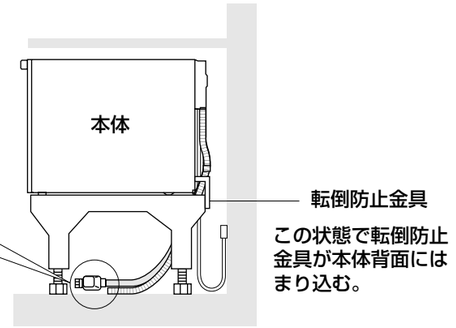

給・排水ホースは後つぎ板の後方を通さないでください。

※給・排水ホースが傷つく恐れがあります。



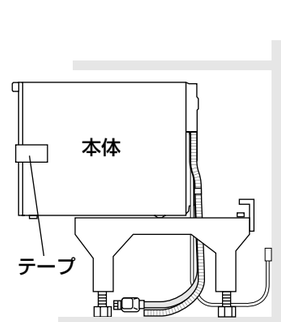
3 台枠内の給水ホースと排水ホースを引き寄せ、排水ホースの先端に同梱のホースジョイントを奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド㊫で止めてください。

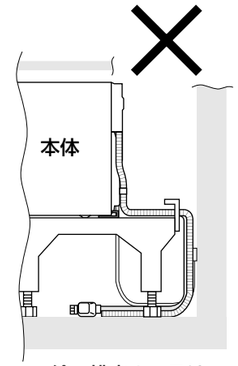



## 床ころがしの配管例（10ページ）

1 本体の後脚を台枠に乗せ、本体を台枠の上をすべらしながら押し込んでください。



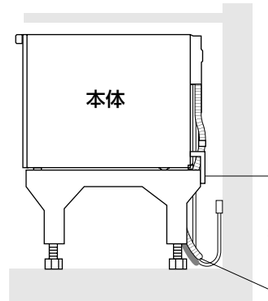




給・排水ホースは後つぎ板の後方を通さないでください。

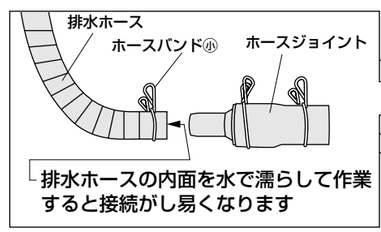
※給・排水ホースが傷つく恐れがあります。

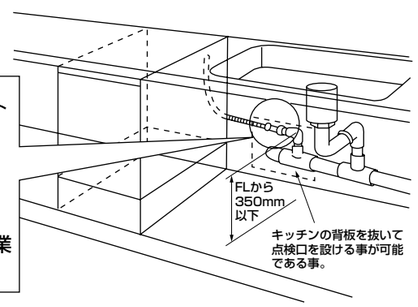
2 本体の前脚が台枠に乗ったら、隣接する機器等に注意し、ドア中央下部をゆっくり押してビルトインし、台枠内の給水ホースと排水ホースを点検口側へ押し込んでください。

※本体が水平になりましたら、ドア飛び出し防止用に貼り付けたテープをはがしてください。




3 点検口側から、給水ホースと排水ホースを引き寄せ、排水ホースの先端に同梱のホースジョイントを奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド㊫で止めてください。



# 11 前ズレ防止金具の取り付け

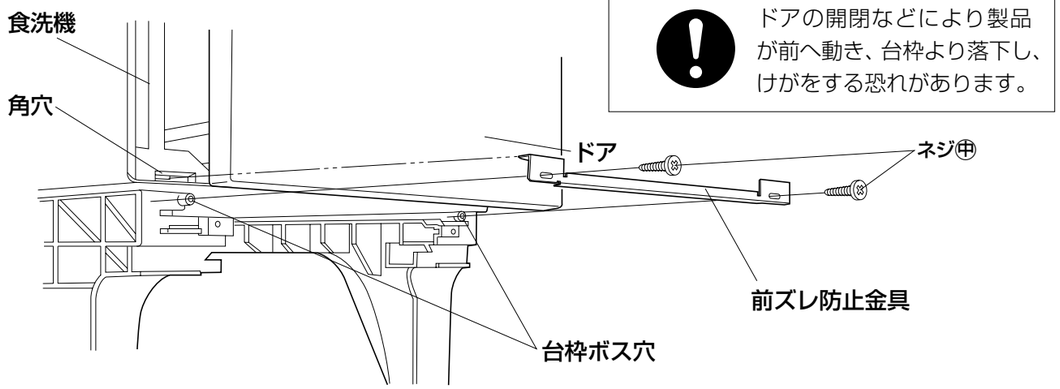
チェック

1 ドアを少し引き出し、同梱の前ズレ防止金具を食洗機前面下部の角穴にはめ込み、同梱のネジ㊥（2本）で台枠ボス穴に固定します。

**注意**

**必ず前ズレ防止金具を取り付ける。**

ドアの開閉などにより製品が前へ動き、台枠より落下し、けがをする恐れがあります。




# 12 ドアへの面材取り付け

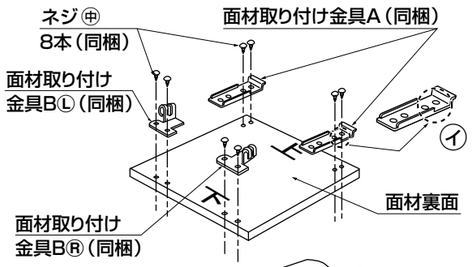
チェック

## 面材タイプ：NP-P45MD2Wの場合

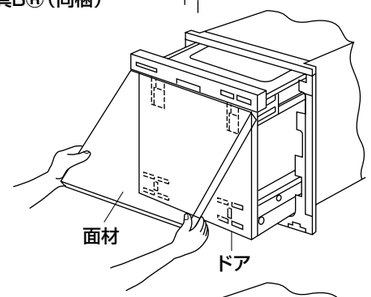
●面材は別売品です：寸法については22ページ参照

1 面材取り付け金具A、Bを同梱のネジ㊥（8本）で面材の下穴に合わせて固定します。

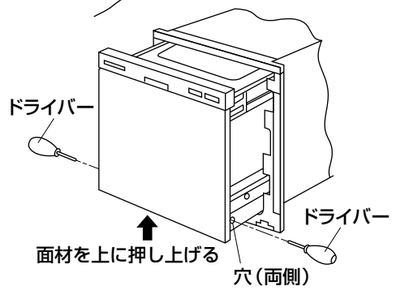
- ●面材取り付け金具Aに開けられている穴は右図㋑側の2コの穴で締め付けてください。
- ●面材取り付け金具Bは刻印の矢印が内側になるように取り付けてください。




2 面材取り付け金具を、ドアの穴位置に合わせ、面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込みます。




3 ドアを少し引き出した後、面材を上に押し上げた状態で左右の穴から⊕ドライバーで面材が傾かないように注意して締め付けます。




**⚠注意**

**必ず左右のネジを締め付ける**

面材が落下し、けがをする恐れがあります。

※面材を取外す場合は、上記作業の2～3を逆の順序で行ってください。



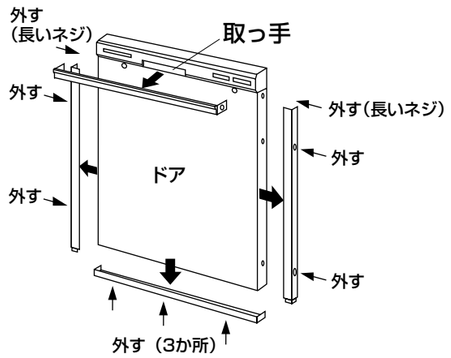
## パネルタイプ：NP-P45MD2Sの場合

●パネルは別売品です：寸法については22ページ参照

1 ドアを少し引き出し、サッシの左右の6か所、下辺の3か所のネジを外します。
（上辺のサッシのネジ2本は、長いものとなっております。取り付けの際は、取り外した長いネジ(2本)で締め付けてください。）

※上辺のサッシは取っ手下部にツメで止まっています。外す際は、取っ手部を上に上げながら手前に引いてください。

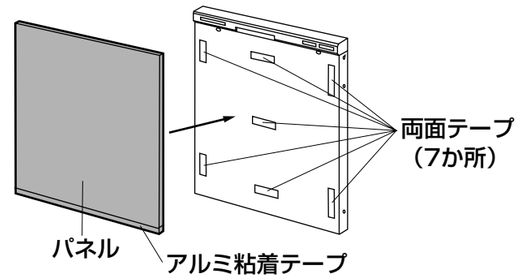
●全てのネジを外さないとパネルを取り付けることができません。




2 防水処理を施した別売パネル（12ページ5項参照）をドア下辺の端面に合わせて固定して、下辺のサッシをネジで仮止めします。
左右サッシ下部のツメを下辺のサッシに差し込み4か所のネジを仮止めします。

※このときパネルは防水処理した側を下にします。

3 パネルを押さえつけながら下辺の3か所のネジを締め付け、次に左右の4か所のネジを締め付けます。
パネルの厚みによってはパネルが浮くことがありますので、両面テープで（現場調達品）ドアに仮付けしてください。（右図）




4 上辺のサッシを正面から差し込み、側面の穴位置にネジ（長いネジ）を締め付けます。

●サッシを無理に広げないでください。サッシが破損する恐れがあります。

# 13 給湯(給水)管との接続

チェック

●アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れ給水ホースを確実に接続します。(フィルターは給水ホースにテープ止めされています。)(下図参照)

※ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。適正締め付けトルクは5～10N・m {50～100kgf・cm} です。

※締め付け作業は市販の工具(スパナ等)を使って締め込みます。

**⚠注意**

**給水ホースは切断しない。**

禁止

水もれの原因となります。

# 14 排水ホースの接続

チェック

●排水管(HT20)にホースジョイントを接続し、ホースバンド㊨で止めます。

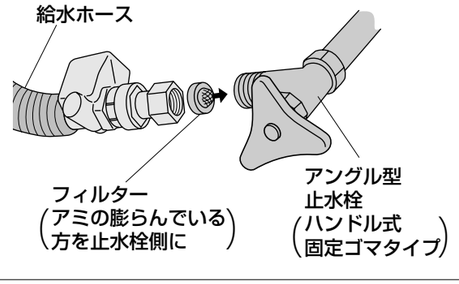
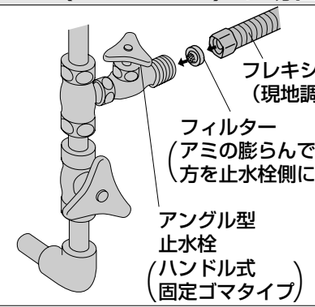
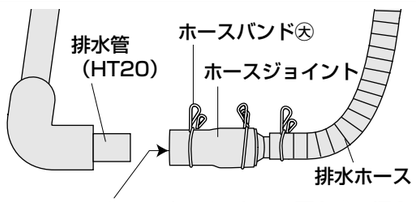
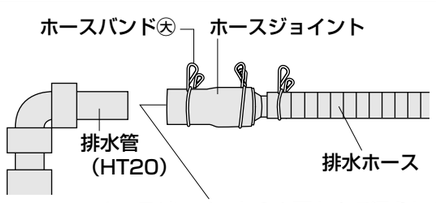
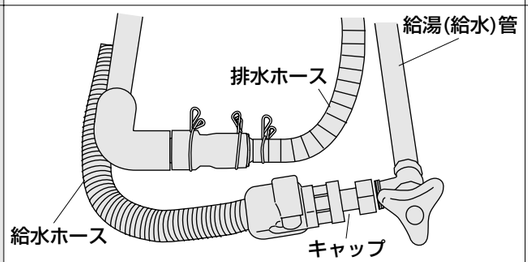
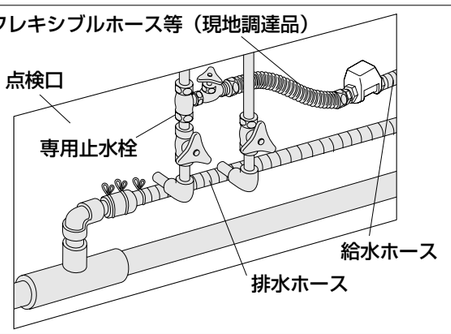
**⚠注意**

**排水ホースは切断しない。**

禁止



水もれの原因となります。

| | 床立上げ、壁出しの配管例(9ページ)の場合 | 床ころがしの配管例(10ページ)の場合 |
|---|---|---|
| 給湯(給水)接続部 |  |  |
| 排水管との接続部 |  |  |
| 給・排水ホース接続完成図(イメージ) |  <br>●排水ホースは給湯(給水)管や給水ホースの上を通るようにしてください。 |  |

●ホースバンドが正しく取り付けられているか確認してください。

●排水ホースに折れや、ねじれ、たるみがないことを確認してください。



# 試運転

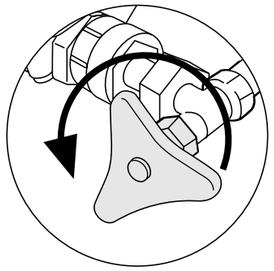
チェック

●あらかじめ電源が入ることと、給湯(給水)の開栓を確認してください。

●次の順序で試運転を行ってください。約8分で終了します。

※本機への通電、通水が不可状態で試運転が行えない時は、後に通電、通水が可能になった時に必ず試運転を行ってください。(ドアを開けて、水や湯を入れて試運転をしないでください。)

**1** 止水栓を開く

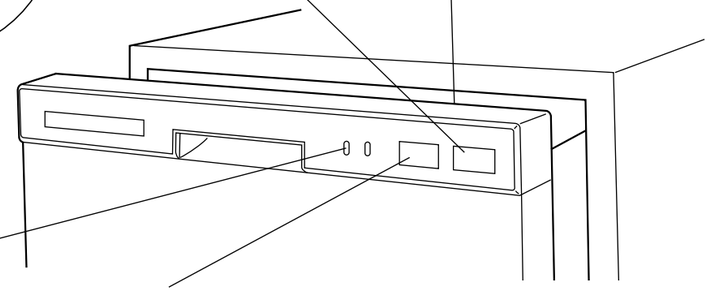


**2** 「電源スイッチ」を押す

**3** 「コース」スイッチを押しながら「乾燥」スイッチを3秒以上押し続ける。下図のようにランプが点灯します。(「乾燥のみ」以外)

(コース表示部)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 低温 | 標準 | 強力 | 少量 |
| スピーディ | ゆとり | 乾燥のみ | |



**4** ドアを閉じて「ドア開」ランプの消灯を確認する

**5** 「一時停止/スタート」スイッチを押す(「スタート」が点灯から点滅に変わる。)

**6** 約8分で試運転が終了し、自動的に電源が切れます。

# 確認項目

チェック

●噴射音:バシャバシャ音がするか確認する。(一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する為)

●運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。

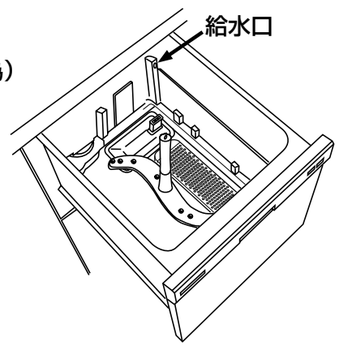
●運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。

●ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。

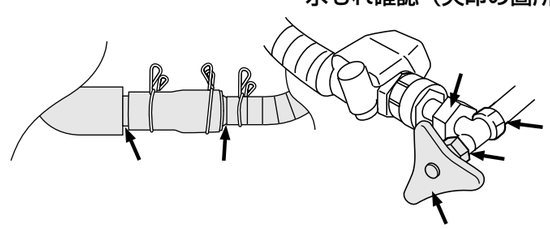
※「電源スイッチ」が「切」の状態で、給水口から水が出ていないことを確認してください。

※試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。

※長期間居住されない場合は、万が一の水漏れを防止する為、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

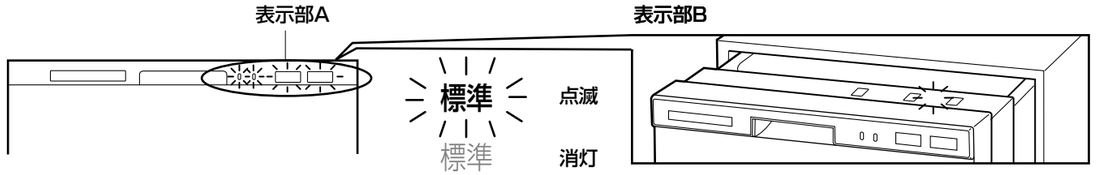



水もれ確認(矢印の箇所)



# 異常報知について

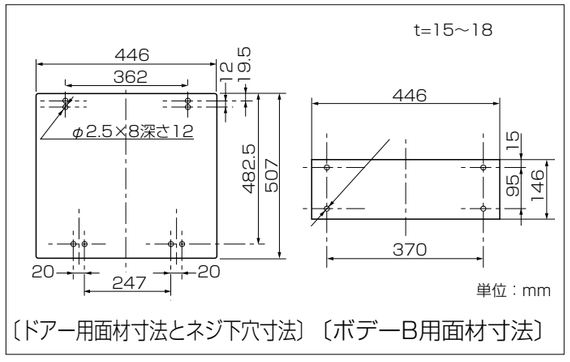
●試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴る場合は以下の内容を確認してください。



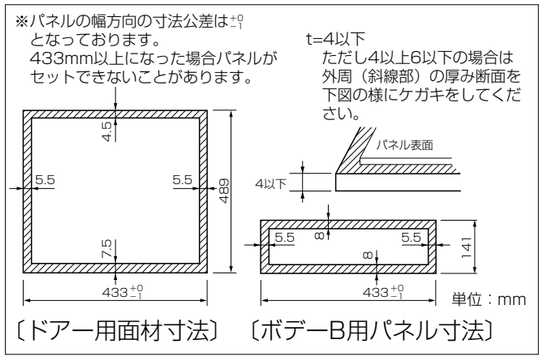

| | 表　　示 | 原　　因 | 処　　置 |
|---|---|---|---|
| 表示部A | ドア開 ※ 除菌ミスト ■一時停止/スタート ■電源 切/入<br>点滅　点灯<br>※設定コースにより消灯する場合があります。 | ドア開異常<br>ドアが確実に閉まっていないまま、運転をスタートした | ●ドアを確実に閉めると、運転が始まります。<br>（「ドア開」ランプの消灯を確認） |
| | ドア開 除菌ミスト ■一時停止/スタート ■電源 切/入<br>ドアが開かない | ドアロック異常<br>ドアロック解除中にドアを開けようとした | ●ドアを奥まで押し込み、ドアを開けてください。<br>→それでもドアが開かない場合は、販売店にご連絡ください。 |
| 表示部A＋表示部B | ドア開 除菌ミスト ■一時停止/スタート ■電源 切/入<br>低温 標準 強力 少量<br>スピーディ ゆとり 乾燥のみ | 排水不良<br>排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。 | ●電源スイッチを「切」にする。<br>●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。<br>（折れぐせがついている場合は直す） |
| | ドア開 除菌ミスト ■一時停止/スタート ■電源 切/入<br>低温 標準 強力 少量<br>スピーディ ゆとり 乾燥のみ | 給水不良<br>断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 | ●電源スイッチを「切」にする。<br>●断水の場合は断水の回復を待って運転する。<br>●水道栓（元栓および台枠内の止水栓）は必ず開栓する。<br>●給水弁先端にあるフィルターの付着物を取り除く。 |
| | ドア開 除菌ミスト ■一時停止/スタート ■電源 切/入<br>低温 標準 強力 少量<br>スピーディ ゆとり 乾燥のみ | 機内の水漏れ不良<br>本体内から水漏れしている | ①電源（ブレーカー）を切る。<br>②本体底面前方の排水口キャップを外して本体底面の水を抜く。<br>（排水口キャップの位置は4ページの「各部のなまえと寸法」を参照）<br>③排水口キャップを本体底面のもとの位置にはめ込む。<br>④電源（ブレーカー）を入れる。 |

上記の処置後、再度運転を行ってください。

## ドアーおよびボデーB用面材またはパネル寸法




〔ドアー用面材寸法とネジ下穴寸法〕〔ボデーB用面材寸法〕



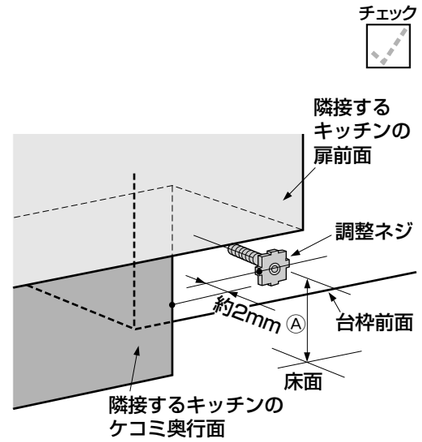

〔ドアー用面材寸法〕〔ボデーB用パネル寸法〕



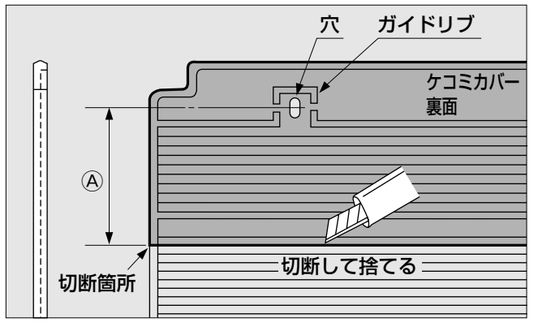
# 試運転後の作業

## 1 ケコミカバーの取り付け

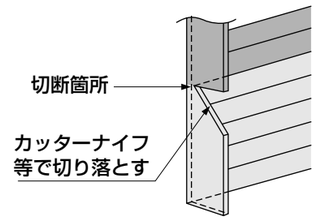
1 台枠前面の調整ネジ（左右2か所）をその前面が隣接するキッチンのケコミ奥行面より約2mmさがった位置になるように出代の調整を行います。この時、調整ネジの頭部の四角の一辺が床面と平行になるようにしておきます。
※調整ネジは90°まわすごとに出代が1mmかわります。




2 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフ等で切断します。
（キッチン高さにより、切断箇所が異なります。）
床面と調整ネジのネジ穴の高さⒶをはかってそれに合わせてケコミカバーのⒶ寸法で切断します。
左右のリブは右図のようにして切断します。

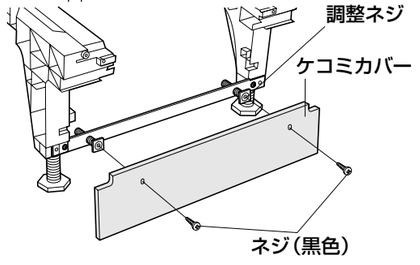



左右のリブの切りかた



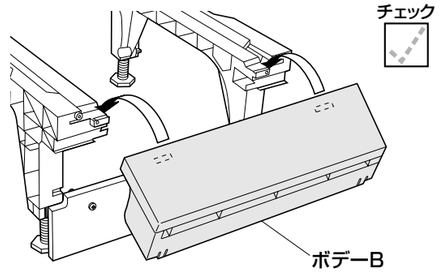

3 カッターナイフ等で切断面の端面処理をします。
（切傷防止のため）

4 ケコミカバーの裏面に設けられているガイドリブ（左右2か所）の間に調整ネジの四角の頭部をはめ込み、同梱のネジ（黒色2本）でケコミカバーを調整ネジに締め付けます。




## 2 ボデーBの取り付け

13ページ「6-1」と同様にして、ボデーBを台枠に取り付けます。



# 設置後の点検(チェックリスト)

| 点検 | | 点検内容 | 参照ページ | チェック |
|---|---|---|---|---|
| その周辺機器及び | ドアの開閉 | 他の機器への障害はありませんか。 | 6ページ | |
| | 転倒防止金具<br>前ズレ防止金具 | 転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。 | 11ページ<br>18ページ | |
| 給湯(給水)・排水接続 | 給湯機との接続の場合 | 指定する給湯機に接続されていますか。 | 8ページ | |
| | フィルター | 給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。 | 20ページ | |
| | 排水ホース | 排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。 | 16·17ページ<br>20ページ | |
| 電気接続 | | 電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V　15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。 | 7ページ<br>15ページ | |
| | | アース線を接続しましたか。 | 15ページ | |
| 試運転 | | 試運転を行い、正常に動作しましたか。 | 21ページ | |

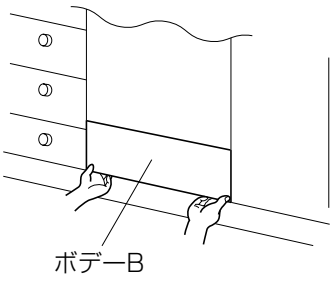
# お客様への取り扱い説明

チェック

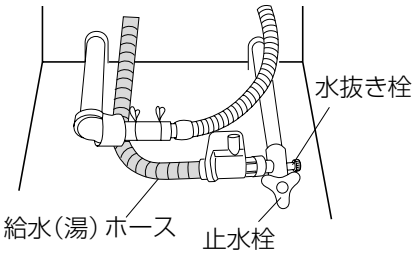
取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

## 寒冷地において冬季長期間ご使用にならない場合の水抜き方法(機内給水経路)

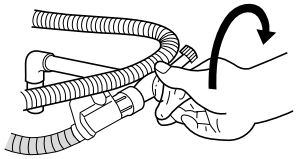
①ボデーBの両下端を手前に引いて取り外す(爪嵌合で取り付けられています)



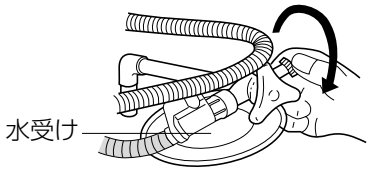

●給水(湯)ホースが止水栓に下図のように接続されています




②止水栓を閉じる。

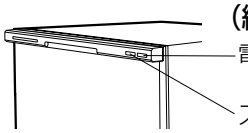


③水抜き栓下部に水受けを置き、水抜き栓を取り外す。(⑤図参照)



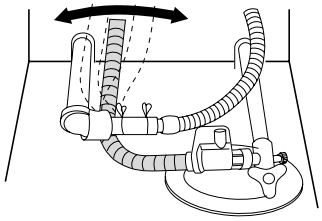

●水受けは約100mlが受けられる皿またはタッパーを準備する(高さ25mm以下)

④電源を「入」にし、スタートスイッチを押す。(給水弁が開放される)




●運転は乾燥のみコース以外いずれも可

⑤給水(湯)ホースを左右に振ったり、軽くたたいたりして衝撃を与える。



●水受けに残水が排出された後も水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、内部の水を吸いとる。(水滴が落ちなくなるまで)

⑥電源を「切」にし、排出水を処理する。

⑦水抜き栓を取り付ける。(必ず守ること)

●止水栓は再使用するまで閉じたままとする

⑧ボデーB裏側上部2か所の爪を台枠に引っかけ、下方を押して取り付ける。


パナソニック株式会社　ランドリービジネスユニット
〒525−8555　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号
電話 077-563-2155(大代表)



© Panasonic Corporation 2008



P9902-84110